



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2014年7月No.386

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2014~2015)	クラブ役員 Officers
センテナリクラブ会長 : 『多くの扉を開き感動を共に』 国際会長 : 『言葉より行動を』 アジア地域会長 : 『未来を始めよう、今すぐに』 西日本区理事 : 『響き合い、共に歩む』 中西部部長 : 『YMCA・ワイズ共に若者、社会に光を』	会 長 : 芝田 光雄 副会長/書記 : 何 早林 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 大村 肇 メネット会長 : 坂本 千春 Y連絡職員 : 鍛治田千文

Biblical Message of July

そればかりでなく、苦難をも誇りとしめます。私たちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。

(ローマの信徒への手紙 5章 3、4節)

多くの扉を開き感動を共に

芝田 光雄

会長拝命与るに際して、古希を迎え乍らもメンバーとして、人としても未熟者ですが人生終生勉強との心意気で、足元の取り組みに精進する所存です。

さてビッグ、イシュー (THE BIG ISSUE) 皆さんご存知ですね。街角の、そこで、中高年の男性が、片手に掲げている小冊子。350円 (180円が販売者の収入になります) 月2発行です。ホームレスの方が自立への一歩を踏み出せた証です。ここに辿りついたバックボーンを思う時、感慨深いものがあります。イギリス生まれのボランティア誌。日本創刊11年目、世界中の名だたる分野の文化人、芸術家が、無償で寄稿、コラム等。昨今、引きこもり、ニート、フリーターの一部は道に迷うとホームレスへ地続き、予備軍とも危惧されています。もし出会ったら手にされては？以前は一助になればとの自己満足を不遜、おごりでは？と見返った時、今日も元気で売ってはるなアと、時折二言三言を交わした時、素直に嬉しい自分があります。

僭越ながらスローガンは”多くの扉を開き感動を共に”皆さん至りませんがよろしくお付き合い下さい。頑張ります。

(次号は岡本剛介さんです)

July Club Meeting

『Kick-off』

7月第1例会

日 時 : 2014年7月16日 (水) 18:45~20:45

場 所 : ホテルグランヴィア大阪

司 会 : 芝田 光雄 君

- | | |
|--------------------|---|
| 1.開会 | 岡本 剛介 会長 |
| 2.ワイズソング | 一 同 |
| 3.今月の強調月間 | 岡本 剛介 会長 |
| 4.聖句朗読 | 三浦 直之 君 |
| 5.ゲスト紹介 | 岡本 剛介 会長 |
| 6.新旧会長交代式 | 司式/清水 汎中西部長 |
| 8.新会長挨拶 | 芝田 光雄新会長 |
| 9.会計報告 (決算・予算) | 大村 肇/山中 秀男 |
| 10.晩餐 | 一 同 |
| 11.お話「タイルと関西建築の歩み」 | チャーターメンバーで、平田タイル (株) 代表取締役社長
平田 雅利さん |
| 12.連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 13.誕生祝い・ニコニコ献金 | 一 同 |
| 14.閉会 | 芝田 光雄 新会長 |

お誕生日 : 7月 : 松田メン (5日)、坂本メネット (21日)

※プレゼントは、巻頭言執筆者の芝田メンがご用意ください。

例会担当 : 第3班=石津、岡本、隅田、谷川、松浦、三浦の各メン

※班担当者は30分前には来てください。

7月第2例会

日 時 : 2014年7月23日 (水) 18:30~20:30

場 所 : 土佐堀YMCA会館4階

【クラブ統計 Statistics】

6月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 19名	メ ン	15名	9名	6月 300g	
例会出席 15名	メネット	4名	0名	現 金 0円	6月: 15,000円
うちメーキャップ 0名	ビジター	0名	0名	累 計	
出席率 78.9%	ゲ ス ト	1名	0名	切 手 4,760g	累 計: 163,200円
	合 計	20名	9名	現 金 0円	

6月第2例会報告

と き：6月25日（水）18:30～20:00

ところ：大阪 YMCA 会館4階

出席者：石津、大村、岡本、芝田、中村茂、中村隆、藤原、三浦、山田の各メン

報告/審議事項

- 7月例会の卓話者平田雅利さんとの打ち合わせ報告
- 7月例会に、清水中西部長、牟書記来訪
- 区報掲載のYY活動は、「なし」で報告
- 来年度の予算案を審議。来期の後期に向け、青年会員を増やすための会費を検討中

その他

- 新しいクラブバナーの制作を検討

(議事録より抜粋)

私たちは耐えるなかで練られ、すべてに熟達するようになりま
す。いきなり成功者になろうとしても無理です。高い山に登ると
きは、裾野から登っていかねばなりません。ヘリコプターで
いきなり頂上までたどり着けるわけではありません。苦難を乗り
越え、自らの使命や、夢を達成しようとする努力は大いに必要で
す。努力は人を裏切りません。努力することを楽しみ、希望をか
なえて行きたいものです。

聖句選/コメント：三浦 直之
(次号は松浦和子さんです)

6月第1例会報告

と き：6月19日（水）18:45～21:30

ところ：ホテルグランヴィア大阪21階

今期最後の第一例会は、ゲストを含め20名が集まり、2期務め大きな役割を果たした岡本会長の点鐘で行われました。

本日のメインスピーチは、チャーターメンバーでもある、御年85歳の、元宝塚ジェンヌの正司泰子さん。すばらしい声量あふれる歌で始まり、宝塚音楽学校に入校するまでの生い立ち、また在籍16年間の楽しくも苦しかった思い出を、明るくユーモアを交えながらお話いただきました。

最後は、わがクラブのメネットとともに、「すみれの花咲く頃」を熱唱。とても若々しい庄司さんに、私たちは惜しみない拍手を送りました。
(中村茂高)



宝塚時代の当時の思い出をいきいきと語る庄司さん

BF 報告

- 芝田メン 30g
- 中村茂メン 20g
- 中村隆メン 250g

合計 300g

(中村 隆幸)



≡ Club Activities (June, 2014) ≡

On June 19, a total of 20 members, Y's menettes, Y's ling (a 10 month-old baby girl) and a guest attended the last club meeting of this fiscal year 2013-2014.

Outgoing President Gousuke Okamoto expressed his deepest appreciation to all members for their support and active participation in our club's activities.

All members gave him a big hand for his leadership in achieving many goals.

The highlight of the meeting was a speech made by Ms. Yasuko Shoji, who once was our club member and also a prima donna of well-known Takarazuka Revue, Japanese all-female musical theater troupe, based in Takarazuka of Japan. The Revue has just celebrated the 100 year- anniversary of its foundation this year.

Starting with her singing of a "praise song" of the Takarazuka Revue, Ms. Shoji told us her full personal background, a variety of fascinating experiences and untold episodes of her 14 years' glorious career at the Revue.

At the end of her presentation, she sang a symbolic song of the Revue, "Sumireno-Hana-Sakukoro ("when violets bloom"), together with all our Y's menettes.

We all enjoyed her very enthusiastic presentation and performances. Nobody believes she is 85 years old now!

Yen 15,000 was collected from the attendees for our club's Niko-Niko (smiling) fund.

谷川 寛

ダイヤモンド街 - マンハッタンの5番街と6番街を結び47丁目の通りを指します。宝石の王様ダイヤモンド - かつて、その売買の中心地として栄えたニューヨークの「ダイヤモンド街」が今や生き残りの正念場を迎えています。研磨職人の高齢化、中国などの新興国の台頭などで存在感が薄れてきています。

下の写真は6番街から見た47丁目の入り口です。“DIAMOND CENTER” - We buy Diamonds のサインがお分かりになると思います。

第二次大戦時、独ナチス政権の弾圧を逃れたユダヤ人のダイヤモンド業者が一斉に移住し、ダイヤモンド売買の中心に成長しました。通りには、宝石の小売・卸売店に加え、彫金・宝石研磨工場、さらに全米で唯一のダイヤモンドの取引所もあります。

しかし、最近では新興国の台頭で存在感が薄れてきています。また、他の東西の”Streets”に比べて、47丁は狭い歩道や、古めかしい街並みが、やや異様に映ります。最近、この通りの改修も話題になっており、老舗「ダイヤモンド街」は改革を迫られています。



西日本区大会前日の夕食に舌鼓を打つ面々

☆大阪YMCA「安全の日」

日程：7月18日（木）過去の教訓に学び、夏のプログラム前に心をひきしめております。今年度の安全啓発グッズとして、夜道で車などのライトが当たると光る「反射板付きタッグ」を会員メンバーに配布いたします。（※各ワイズメンズクラブからいただきました「安全の日支援金」は、年間の安全教育研究会やこの啓発グッズ作成の一部に使用させていただいております。ご支援感謝いたします。）

☆とさぼりサマーセミナー2014

日時：7月27日（日）午前10：30～午後3：30
場所：大阪YMCA会館
対象：年少～小学生のファミリー
今年で7回目となる「家族で楽しむ街の学校」。子どもも大人も学び、遊べるプログラム。

☆香港グローバルシチズンキャンプ

香港の大学生とすごす5日間。きっと生涯の友となれるはず。感動的な1週間になるでしょう。普通の観光ではいけないような場所も訪問します。
日時：2014年8月18日（月）～23日（土）
場所：香港
対象：16歳～24歳 英検3級以上
テーマ：香港の貧困
内容：Culture Night, Field Study of Subdivided flats/ Food Angel, Children social service, Voluntary service, Visit Hong Kong Adventist College, Sightseeing, Farewell party
事前学習会：7/10・7/22・7/31
費用：98,000円
*大阪YMCA国際協力基金、香港中華YMCA支援金を用います。
窓口：大阪YMCA国際専門学校（4F）
担当：鍛冶田千文

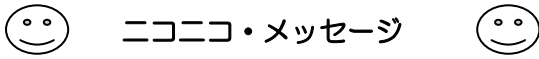
（鍛冶田 千文）

西日本区大会報告

坂本 哲朗

今年は、第17回西日本区大会が、2014年6月14日～15日の日程で、岩国で開催されました。大会会場は、シンフォニア岩国、懇親会会場は、岩国国際観光ホテルでした。私たちは、夫婦は、前日の午後3時過ぎに、岩国国際観光ホテル到着しました。その後、夕方まで、日本三大名橋と言われる「錦帯橋」周辺の散歩。夕食は、京都、九州のワイズメン、メネットの10数名で、山口県話題の名所、いろいろ山賊で食事を楽しみました。

14日は、朝から、8時過ぎにホテルを出発し、千春は、代議委員会の準備、私は、今回、それを見守る役でした。代議委員会は、問題なく終了、昼食後は、大会が開会されました。15日は、早朝聖日礼拝、事業表彰、理事表彰 理事・役員引継式、閉会大会両日共は、すべて生演奏で、実施され、とてもセンス良いプログラムでした。



ニコニコ・メッセージ

【Messages from the Club Members】

会員、ゲストからのメッセージ

《会員、メネットからのメッセージ》

○正司さんの楽しい宝塚時代のお話を聞かせて頂きました。

(大村 肇)

○チャーターメンバーの正司さんとお会いできたこと、元宝シエンヌの榎克己さんのお話を聞いたこと、大変嬉しく思います。

(岡本 剛介)

○エネルギーに溢れるお話を聞くことができ楽しかったです。

(岡本 麗香)

○宝塚のお話、とても面白かったです。

(鍛治田 千文)

○岩国の西日本区大会は大変心のこもった大会でした。おもてなし(の気持ち)をととても感じました。

(坂本 哲朗)

○正司さんは華やかな雰囲気、一時宝塚歌劇の風が吹いたようでした。

(坂本 千春)

○正司様、昔から現在までの素敵なお話を楽しくお話頂き、有難うございました。岡本会長の2年間のご指導、ご活躍お疲れさまでした。

(芝田 光雄)

○・岡本会長、2期のお働き有難うございました。

・正司さんのお話、大変楽しく聞きました。

(谷川 寛)

○華やかな正司さん、手本にさせていただきます。

(中村 幸枝)

○・岡本会長、2期に亘るご奉仕、本当にご苦労さまでした。心より感謝申し上げます。

・正司様のエネルギーなお話、85歳とはとても思えず、かくありたいと思うことしきりでした。

(藤原 正巳)

○子供達は宝塚大好きです。また子供達と宝塚を親に行きたいですね。

(何 早林)

○正司泰子さんの宝塚時代のお話、大変興味深かったです。昭和の良き雰囲気を満喫しました。

(三浦 直之)

○正司泰子さん、興味津々の話有難うございました。熱演に感謝します。

(山中 秀男)

○正司様の楽しいお話有難う存じます。自立自尊の素晴らしい人生、私も見習います。

(山中ちあき)

○6/14～15日第17回西日本区大会に参加のため山口県岩国市に行ってきました。錦帯橋のふもとの旅館に泊まって、Y's Men's Clubの西日本各地の友人と交流する楽しい時間を過ごすことができました。

(山田 孝彦)



最後は「すみれの花咲く頃」をメネットたちと熱唱

ワイズメンズ国際協会 2013-14 年度西日本区表彰

YMCA サービス・ユース事業

- ・優秀賞 ユース支援 中西部9クラブの一つ
- ・Yサ・ユース献金優秀クラブ賞

EMC 事業

- ・青年会員獲得賞
- ・YES 献金達成賞

ファンド事業

- ・BF100%達成賞



編集後記

イラストレーターの山藤章二が、朝日新聞で今連載中の夏目漱石の「こころ」を読破するのに50年かかったと言います。私も過去挑戦し挫折した経験があり、これを機に再度挑戦したところ、まともや挫折。なぜか。一言で言うと、おもしろくないのです。

この小説は、明治の末期、語り手の「私」が学生の時、鎌倉の海水浴場で偶然出会った「先生」を通して、人間のエゴと倫理観の葛藤を描いたものですが、そこには意外性もなくドラマチックな要素もない。過剰なまでの読者サービスが巷(ちまた)に氾濫する現代において、この小説だけは淡々とストーリーが流れます。

しかし安藤は、「現代人はおしなべて、心を軽んじているのではないか」と指摘します。77歳を迎えた今、ようやく深々とした気持ちで読めるようになったと語る、その言葉を聞いて、私も再度挑戦する気持ちになりました。

S.N